

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		JSS水夢北神戸		公表日		2026 年 2 月 28 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		十分確保されている	今後も十分なスペースが確保できるように努める	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		配置できている	適切な人員配置を行う	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	施設の構造上階段もありバリアフリー化ではないが段差のある所は職員が着く等視覚的に本人に分かり易く環境を整えている	事業所が2階にあることや事業所内に階段がある。構造的に対して、必要に応じて職員が補助するなどの対応を行う	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		掃除、消毒を行い落ち着けるように色などの情報は少なくしている。活動に応じて伸び伸びと動けるスペースを確保できている	今後も十分なスペースが確保できるように努め、清潔で心地よい環境を整える	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		落ち着けられる場所を十分確保されている	時と場合に合わせて対応を行う	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		日頃からミーティングに全職員参加している	PDCAサイクルに基づき業務改善を行う	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		必要に応じてアンケートを実施している	業務改善できることは即座に対応を行っていく	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		日々のミーティングや研修で業務改善について意見を話し合っている	業務改善できることは即座に対応を行っていく	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		行っていない	本社関係者の巡回により改善点等の検討を行っていく	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		毎月職員研修を実施している	職員資質向上の為の研修を実施していく	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		公表している	今後も公表していく	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		検査受験歴の把握と希望者に検査を実施している	全利用者が検査結果を画面で持っているわけではない為検査受験時の結果について保護者からの情報収集を行うようにしている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		支援計画を示しながら全スタッフで会議を行っている	支援計画に沿った支援が出来るよう職員間での情報共有に努める	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		支援計画内容をミーティングで伝えてから療育を行っている	支援計画に沿った支援が出来るよう職員間での情報共有に努める	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		必要に応じてた方法で確認をしている		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		職員と話し合いながら立案している	支援計画に沿った支援が出来るよう職員間での情報共有に努める	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		子どもたちが楽しめるように「今日は何をするのか」とワクワクする内容を検討している	固定化にならないよう子ども、職員が楽しめるような内容に努める	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		子どもの状態や子ども一人一人に合わせた支援計画を作成し課題の個別や集団でのルール遊び等を取り入れている	子ども一人一人に合わせた支援計画を作成し支援を行う	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		療育前に全職員で必ずミーティングの際に確認を行っている	全職員でミーティングを行い情報共有を行う	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		療育前に全職員で必ずミーティングを行い情報共有を行っている	全職員でミーティングを行い情報共有を行う
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		ミーティングを行う際に必ず紙とパソコンに記録を行い話し合っている	子どもの様子や保護者からの情報の記録し支援につなげる
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		保護者とモニタリングを行い見直し等はないか確認している	モニタリングを行い支援計画につなげていく
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5		相談支援事業所を利用している利用者が少ないが必要に応じて関係機関との連携に当事者が出席している	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		必要に応じて連携を行っている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		保護者に確認の上、必要に応じて（就園・就学の際に紹介状）情報共有を行っている。保護者からの希望や学校からの困りがあった際に連携を行い情報共有している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	5		行っていないが、公園等に行った際に他の子どもと一緒に遊ぶことなどがある	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5			
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		保護者による送迎があることで保護者との細やかな連携を行っている	保護者に子どもの状況や課題について共通理解を徹底していく
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		プログラム化はしていないが日々の送迎時に保護者とのやり取りの中で家族支援を行っている	家での困り等がある場合は職員で話し合いより良い支援方法を見つけて伝えていく
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		契約の際に説明を行い、支援計画を伝える際や質問等があった際には説明を行っている	今後も保護者に丁寧な説明を行っていく
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		支援計画を作成する際には毎回保護者と話をする機会がある為その中で今の思いや困りを確認している	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		保護者による送迎があることで子どもの様子を伝える中で悩みや相談に応じて面談や助言等の支援を行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5		保護者会を開催し、保護者同士で交流する場を設けている	今後も保護者会を設けていく
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		悩みや相談があった際にはその場で応えられる内容なのか全職員で話し合ってから応える内容なのか必要に応じて判断し助言している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		毎月お便りを発行し、時折ブログで発信している	今後もお便りの中で様々な情報を発信していく
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン」を遵守し適切な取り扱いに努めている	個人情報に関しては十分な対応を行っている
	44	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		利用される子どもや保護者との意思疎通や情報伝達の配慮を行っている	利用される子どもや保護者との意思疎通や情報伝達の配慮を行っていく

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5	行っていない	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		様々なマニュアルのファイルを策定し、周知し訓練を行っている	今後も周知し訓練を行っていく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		毎月様々な訓練を行い保護者による送迎の際にお伝えとお便りで伝えるようにしている	毎月避難訓練を行い万一の災害に備える
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		契約の際と保護者による送迎の際に健康チェックや子どもの様子などを必ず確認を行っている	今後も契約時や登所前に確認を行っていく
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		契約する際に食物アレルギーの有無等の用紙に記入していただき提出をお願いし聞き取りを行っている	今後も用紙に記入し変更になった場合も再提出をお願いしていく
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画を作成し研修、訓練を行い安全管理の中で支援を行っている	今後も安全計画を作成し研修、訓練を行い安全管理の中で支援を行っていく
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		安全計画に基づく取り組み内容について周知している	今後も安全計画に基づく取り組み内容について周知していく
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		毎日療育後にミーティングを行い職員からヒヤリハットがなかったか確認を行い再発防止に向けた方策について検討している	今後も職員間でミーティングを行いヒヤリハットについて共有の徹底を行う
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		研修を行っている 契約時に説明を行い了承を得ている	研修を行い虐待防止に努める 今後も契約時に説明を行っていく
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		契約時に説明を行い了承を得ている	今後も契約時に説明を行っていく